

「やさしい日本語」について

About Easy Japanese

「やさしい日本語」とは、
**普通の日本語よりも簡単で、
 外国人にもわかりやすい日本語**

🍌 **きっかけは、阪神・淡路大震災**
 日本人だけでなく日本にいた多くの外国人も被害を受けました。その中には、日本語も英語も十分に理解できず必要な情報を受け取ることができない人もいました。そこで、そうした人達が災害発生時に適切な行動をとれるように考え出されたのが「やさしい日本語」の始まりです。

🍌 やさしい日本語は、全国的に様々な分野で取組が広がっています。
**災害時の情報提供手段 / 平時の情報提供手段
 行政情報 / 生活情報 / 毎日のニュース発信
 観光** 等

20 年 月 時点 事例

🍌 やさしい日本語の作り方 具体例

普通の日本語

けさ7時21分頃、東北地方を中心に
 広い範囲で強い地震がありました。
 大きな地震のあとには必ず余震が
 あります。
 引き続き厳重に注意してください。



やさしい日本語

今日 朝 7時21分、東北地方で
 大きい 地震が ありました。
 大きい 地震の 後には 余震<後
 から 来る 地震>が あります。
 気をつけて ください。

やさしい日本語を作るには、いくつかのルールがあります。
 詳しくは、「多言語対応協議会ポータルサイト」内、「やさしい日本語」のリンクページをご覧ください。

相手に外国語で伝えたい内容は、わかりやすい言葉から考えることによって、より伝わるものとなります。
 東京2020大会後のレガシーとして「多文化共生社会の実現」を見据えて取り組む上で、多言語対応の一つの手段として「やさしい日本語」に取り組んでみませんか？

注意 Attention 주의 Atencão

つか
使うことが できません

計画停電<決まった 時間だけ 電気が 止まること>が
 あります

電気を たくさん つくることが できないので
 停電<電気が 止まること>が あります

次の 時間は 電気を 使うことが できません

月	日	曜日
午前・午後	時	分から
午前・午後	時	分まで

停電 <電気が 止まること>に なる 前に
 懐中電灯<手に 持つ 電気>や ラジオを
 準備して ください

(作った日)

_____年 _____月 _____日

(作ったところ)

118